

父親支援研究会の立ち上げとその活動～我が国の父親支援発展を目指して～

(代表者) 家政教育講座 准教授 小崎 恭弘

(分担者・協力者) 家政教育専攻 大学院2回生 増井 秀樹

## 1. 目的

父親を取り巻く状況が大きく変化し、近年研究の領域においても父親を対象にしたものが見られるようになってきた。保育学会では、過去の子育て支援関係発表において、その対象は多くが母親であったが、近年は父親を対象にした研究も散見されるようになってきた。また今年度は、筆者も加わり父親についての自主シンポジウム「父親への子育て支援を考える」が初めて開催された。父親への関心が高まってきている。

このように研究対象として父親がクローズアップされてきているが、我が国において父親や父親支援に特化した研究会は存在していない。そこで本助成金を活用し、父親支援に関わる研究者のネットワークを構築し、それぞれの研究についての意見交換や情報交換を行う機会や場を設けたいと考える。それが「父親支援研究会」である。

「父親研究」ではなく「父親支援研究」としているのは、単に父親という存在や事象レベルの研究ではなく、父親自身の Wellbeing により深く貢献し、そのことによりパートナーや子ども、家族という幅広い積極的関与を期待するからであり、そのような家庭科の保育領域の視座を持ちたいと考えたからである。

父親支援の研究の発展に向けて、研究者のネットワークを構築することが本研究の最大の目的であり、そのことにより話が国における父親支援研究の発展に寄与することを目指している。

## 2. 活動の取り組み

本年度の活動は以下のとおりである。

### ○研究会の立ち上げ

関西の研究者を中心として、父親支援に関心のあるメンバーへの呼びかけを行い、研究会の立ち上げを行った。研究会の名称は「父親支援研究会」として、研究会代表として小崎、そして二名の幹事を置いた。

- ・田辺昌吾（四天王寺大学教育学部准教授）
- ・松本しのぶ（京都光華女子大学こども教育学部講師）

他のメンバーは、保育学会でのシンポジウムの参加者、関西の大学院生、出版関係者、父親支援活動の支援者等である。インターネットのMLなどを活用しネットワークを構築した。

### ○定例会の実施

父親支援研究会の開催を行った。

	日 程	場 所	内 容
第一回	6月23日	大阪教育大学	・父親支援研究会について

		天王寺キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・研究内容と父親支援について</li> <li>・今後の予定</li> <li>・フリートーク「父親とはだれか?」</li> </ul>
第二回	8月28日	大阪教育大学 天王寺キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親意識の変化と子育て支援</li> </ul> ゲスト 高岡純子さん ベネッセ教育総合研究所次世代育成研究室室長 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 ベネッセが発表した「第3回 乳幼児の父親についての調査(2014)」についての報告とそれらの分析から、現代社会におけるよりリアルな父親像についての報告。これまでの父親調査の推移から、父親の変化についての検討。</li> </ul> 18-19時 高岡さんの報告 19-20時 フロアーとのディスカッション
第三回	10月15日	大阪教育大学 天王寺キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親支援研究文献について</li> <li>・父親支援研究のプログラムについて</li> <li>・日本におけるパパスクールの状況</li> </ul>
第四回	12月16日	大阪教育大学 天王寺キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援における父親支援とは</li> <li>・地域における父親支援の実際</li> </ul>

○学会での発表

1. 日本保育学会

5月10日に開催された第68回日本保育学会(椋山女学園大学)において、発表を行った。

1. 口頭発表 小崎恭弘・増井秀樹「少子化対策の変遷における父親支援の位置づけとその意義—少子化対策プランをてがかりに—」

2. 自主シンポジウム

「父親の子育て支援を考える—父親ネットワークづくりと次世代育成—」

企画・司会 清水里美(平安女学院大学短期大学部)

話題提供者 馬見塚珠生(親と子の心のエンパワメント研究所)

小崎 恭弘(大阪教育大学)

原口 喜充(大阪大学大学院生)

指定討論者 竹之下典祥(盛岡大学)

松本 しのぶ(京都光華女子大学)

「父親の子育ての課題と展望」の発表を行う。

2. 日本心理学会

9月22日に開催された日本心理学会公募シンポジウム(名古屋国際会議場)において、発表を行った。

日本心理学会公募シンポジウム・日本心理学会のジェンダー研究会主催「現代社会における結婚生活・夫婦関係 共同のプロセスに着目して」

司会 水澤慶緒里

話題提供者：滑田明暢 黒澤泰 増井秀樹

指定討論者：安田裕子 小崎恭弘

#### ○父親支援に関する専門書の出版企画

ミネルヴァ書房との話が進み、2016年度内をめどに「父親支援の理論と実際(仮)」の出版を予定している。今後本研究会をベースとして、父親支援研究保進めていき、専門書の出版という一つのゴールを意識した活動に発展していく。

### 3. 活動の成果

本研究会における活動の成果は以下の4点である。

1. 我が国初の父親支援に特化した研究会を立ち上げることができた。
2. 父親支援に関する研究者や支援者が集う場を作り、研究のプラットフォームを構築した。
3. 父親支援に関する研究を、社会に発信することができた。
4. 父親支援の関する専門書発行の契機を得た。

### 4. まとめと今後の取り組み

本活動は我が国における父親支援研究の進展に寄与することである。今年度、研究会の立ち上げやネットワーク構築の機会を得て、父親支援の研究体制が少しずつ整ってきた。また学会等を通じて社会への発信の機会も得た。これらの活動を総括する形として、専門書の発刊の機会も得た。予想以上の成果を得ることができた。

父親支援がそれだけ社会的な意義や役割が求められているという事であり、今後研究者としてまた本研究会主催者として、その社会的な責任は大きいと考える。その責任を果たすことができるような、研究活動、社会活動に邁進したいと考える。

このような機会をいただけたことに感謝申し上げます。